

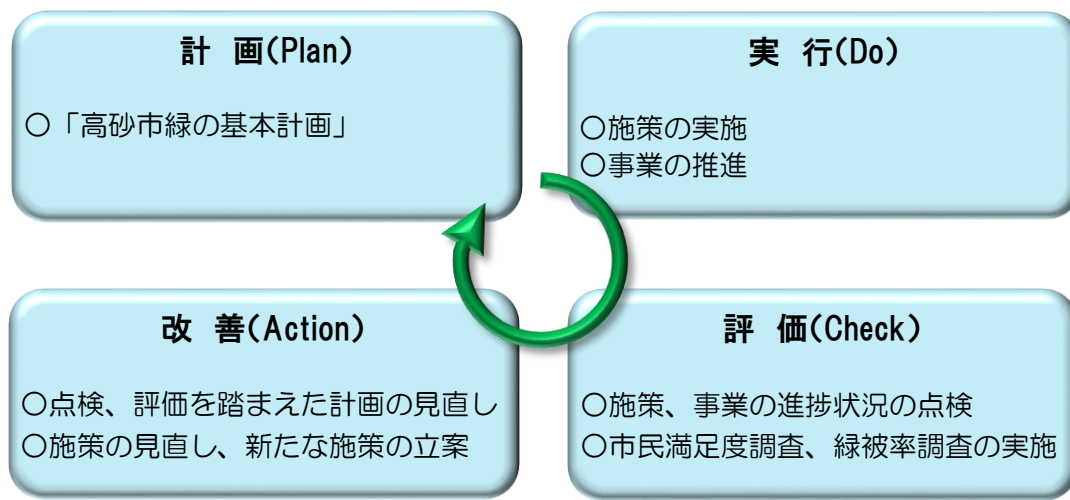
第6章

計画の実現に向けて

第1節 計画の進行管理

1. 進行管理のサイクル

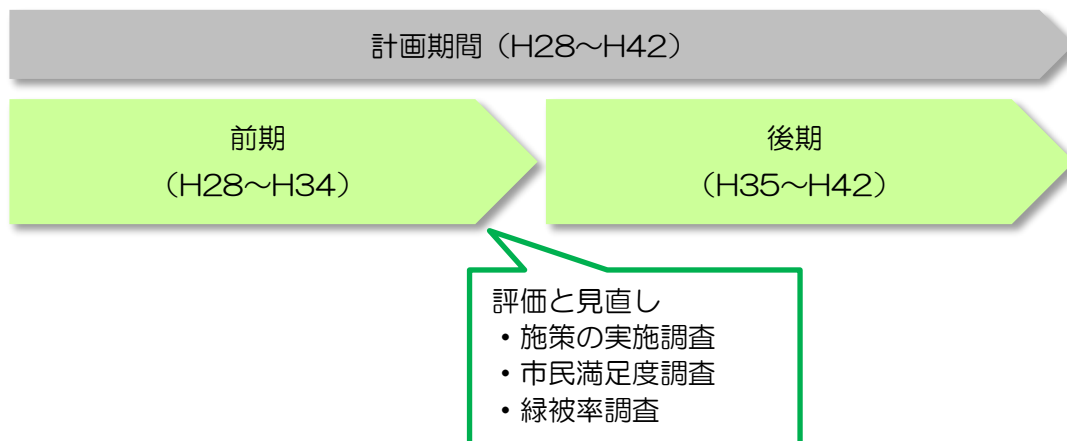
本計画が目指す緑の将来像の実現に向けて、計画(Plan)、実行(Do)、評価(Check)、改善(Action)のサイクルで進行管理を行います。



2. 進行管理の方法

本計画は目標年次を平成 42 年とし、その計画期間において、平成 28 年から平成 34 年までを前期、平成 35 年から平成 42 年までを後期とします。なお、平成 34 年を中間年次とし、評価と見直しを行います。

評価の方法については、施策の実施状況調査や市民満足度調査、緑被率調査により目標の達成状況を評価し、関係者等による協議の場を設けて見直しを行います。

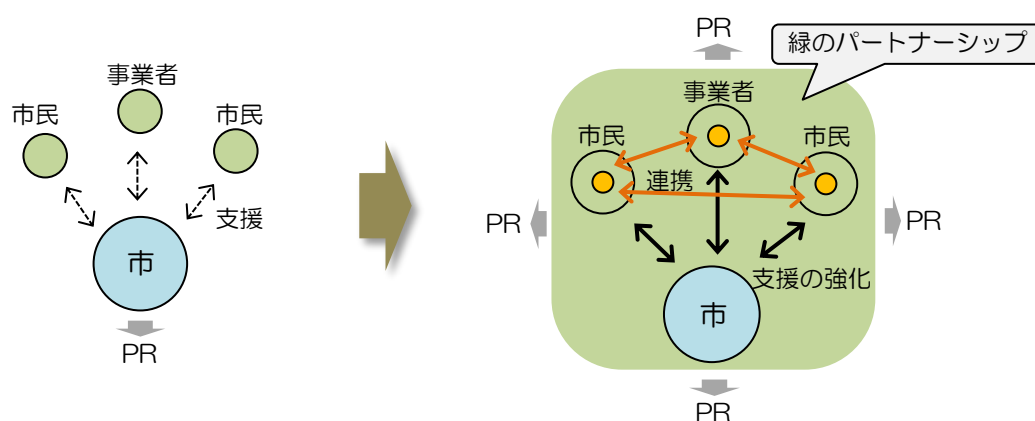


第2節 計画の推進体制

1. 緑のパートナーシップづくり

高砂市は、「高砂市緑の基本計画」に基づいて、緑の施策を進めるための実施体制を充実させるとともに、緑に関わる各部署が連携しながら、現行施策の継続・拡充、新たな施策に取り組みます。

また、市民や市内の事業者の自主的な活動への支援を積極的に行っていくことで、緑のまちづくりに関わる各主体がパートナーシップを築きやすい環境を整えていきます。



緑のパートナーシップづくりのイメージ

2. 関係機関との連携

1) 庁内の推進体制

庁内の関係部署が連携して「(仮称)高砂市緑のまちづくり推進会議」を設置します。この新体制で各部署が相互に関連する計画や事業、施策の情報交換と連絡・調整等を行い、施策の効果的・効率的な展開を図ります。

2) 関係機関との連携

国や兵庫県、隣接する自治体、河川流域自治体等と相互に連携を図りながら、広域的な緑のネットワークの形成に向けて各種施策に取り組みます。